

美原記念病院ブレインバンクからの年次報告(2016 年度)

Annual reports from Mihara Memorial Hospital Brain Bank (FY 2016)

田野 光敏¹, 田村未来¹, 佐藤 愛海¹, 青柳 真一¹, 飯島 仁美¹,
谷津 隆之¹, 諏訪部 桂¹, 木村 浩晃¹, 高橋 陽子¹, 相澤 勝健¹,
赤津 裕康^{4,5}, 村山 繁雄⁶, 高尾 昌樹^{1,3} 美原 盤¹, 美原 恵里², 美原 樹¹

1. 公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院
2. 公益財団法人脳血管研究所 介護老人保健施設アルボース
3. 埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中内科・神経内科
4. 医療法人さわらび会 福祉村ブレインバンク
5. 公立大学法人名古屋市立大学 大学院医学研究科
6. 東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク

【目的】

日本神経科学ブレインバンクネットワークを構成する美原記念病院ブレインバンクにおける 2016 年までの現状を報告する。

【方法】

当施設は 2007 年からブレインバンクを整備し、日本神経科学ブレインバンクネットワーク 1 施設として、剖検、その後組織診断できる体制を確立し、症例を蓄積してきた。死亡後は必要に応じて頭部 MRI や全身の CT も実施している。右脳と脊髄の一部は-80℃で保存し、分子生物学的解析のため保存。免疫組織学的染色は自動免疫染色装置で施行。他施設からの剖検依頼や標本作製・診断依頼も受け入れる体制とした。

【結果】

現在、214 例（2016 年 11 月末）の凍結試料を有している。最も多い疾患はプリオン病で凍結試料が 41 例あり、臨床診断、入院受け入れ、剖検、組織診断まで対応をしており依頼剖検も多い。次に多いのは筋萎縮性側索硬化症の 33 例。続いて脳梗塞 21 例、脳出血 19 例、アルツハイマー型認知症 18 例、レビー小体型認知症 14 例、脊髄小脳変性症 9 例、進行性核上麻痺 6 例、多系統萎縮 6 例、パーキンソン病 5 例、その他の神経変性疾患 4 例、110 歳以上の超百寿者 5 例、その他の症例が 33 例であった。

剖検依頼に関しては、プリオン病剖検が困難な施設、臨床的にプリオン病も念頭におかれ剖検ができないケースや、剖検施設がない療養型病院や老人ホームにおいても、事前同意されている場合は各施設と連絡をとり、当院で患者搬送を行い剖検している。本年度は、プリオン病に関して 3 件と慶應義塾大学百寿総合研究センターとの共同研究で県外の 110 歳の剖検依頼があった。標本作製・診断依頼は 13 件であった。

【結語】

プリオン病、神経難病、超高齢者の症例が中心に蓄積されつつあるが、脳血管疾患の症例が剖検になりにくい点が現在の課題である。